ごとう通信

第74号
平成19年2月1日

今年は暖冬ですね。個人的には大歓迎ですが、社会的には大問題です。いわゆる「地球温暖化」です。たしかに「オゾン層の破壊」などということは数年前から言われていたのですが、ここに来て一気に環境問題が爆発したような気がします。それだけ切迫してきたということでしょう。

環境問題は、現代文明がもたらした問題であることは間違いありません。自動車の排気ガスや電力消費が自然破壊を引き起こしているのですから。このような文明のトップを走るア

メリカが京都議定書（国際的に環境をよくしようと定めた努力目標）に参加していないなんて本当に不思議なことだと思うし無責任な話だと怒りも感じます。

ただ、先日、アル・ゴア前副大統領がテレビに出演し、話しをしているのを聞き、「アメリカにも良心のある人がいるんだ」ということが分かり、少し安心しましたが。

でも、アメリカに限らず、日本も自動車大国ですから「環境のために自動車の生産を減らせ！」などと国が命令したとすると業界から大反発が来るのは目に見えています。難しいものですね。文明の発達は人類の夢だったはずなのに難しい問題も付いてまわります。

医療も似た側面があります。いわゆる医療技術の進歩は、私たちに福音ばかりもたらしたかというと・・・そうでもないケースがあります。例えばチューブや管をいっぱい付けられ、意識もなく「生かされている」状態（スパゲッティ症候群）。誰のために医療があるのか、「生きる」とは何か、そんな基本的な問題に立ち返る時期が来ているのかもしれませんね。

むし歯はなぜできるのか！

皆さんにとっても、もちろん僕たちにとっても「むし歯がいつ、どこにできるのか、そしてどれほど痛いのか！」ということは知りたいですよ